

# 凡事徹底 野間中だより

平成26年9月2日  
第195号  
野間中学校

## 2学期が始まりました

校長 寺田 真一

以前、レスリングの吉田沙保里選手に、後輩の指導でいちばん気をつけることは、と聞いたときに、「あいさつや掃除ができない人にはしっかり注意する。気を配る人は、力が伸びる人、試合に勝つ人になる。」と答えました。

本年度、野間中は、「自ら進んで先にあいさつ」を全校の目標としました。終業式のときには、「1学期の終わりに、今、この目標を実行できているか振り返ってください。」とも話しました。

さっそく、夏休み中の部活動で気づいたのですが、新チームになって、一段と大きな声であいさつできるチームが増えました。素晴らしい。

私の経験からも、あいさつ、礼儀のしっかりしたチームや選手は、最後に伸びる。最後に勝てるチームになる可能性が高いと思います。

さて2学期も凡事徹底。「自ら進んで先にあいさつ」はもちろん、当たり前なことを当たり前でできる学校づくりをします。例えば、テレビや新聞で語られるような、いじめや暴力行為は認めないし、許しません。茶髪などの異装は、直してから教育活動に参加するよう指導します。登校時間、朝会の時間、下校時間、授業時間など時間を守ろう。などなど、2学期の自分をしっかり見つめて、いいスタートを切ろう。

その先には、野中祭や合唱コンクール、部活動の大会、そして3年生は進路での成功が待っています。

本気で君たちのことを考えてくれる先生たちのもとで、弱い心に負け、自分から希望やチャンスを逃さぬよう、大切な2学期をしっかりとやろう。



2学期始業式にて

## 夏休み防犯教室 (8月4日)

夏休みの出校日に、美浜町を良くする会の方々を始めとする地域の方や保護者の方と一緒に、防犯教室を行いました。半田警察生活安全課の方を講師に、夏休みに起こりやすい犯罪・事件について事例をもとにお話していただきました。ケーブルテレビや新聞社の方の取材もありました。長期休業中だけでなく、常時、事件や事故に巻き込まれることもなく、野間中生が元気に過ごしてくれることを願っています。



講師 半田警察署生活安全課  
中村 大 係長



## 美浜町フレンドシップ草の根国際交流ホームステイの旅



8月21日から26日まで美浜町フレンドシップ草の根国際交流ホームステイの旅に野間中から8名が参加しました。

親元を離れ、シンガポールでのホームステイという貴重な体験をすることができ、帰ってきた中学生は一回り大人になって帰ってきました。

今回の体験をもとに野間中のリーダー、知多のリーダーとして今後の活躍を期待します。

ホームステイの詳細につきましては次号で紹介いたします。  
みなさんお疲れ様でした。

## 2年生職場体験学習 ご協力ありがとうございました。

平成18年より愛知県教育委員会より「大人へと心身ともに成長する時期にある中学生に社会の成り立ちについての理解や働くことの意義、責任感、あいさつ、言葉づかいの大切さなど、社会性を身につけてもらうため、学校と地域が連携して職場体験を行う」ことを目的として、今年度も8月5日より3日間程度、2年生が職場体験を行いました。町内保育所・灯台ラーメン・灯台うどん・うつみ食堂・ジョイフルファーム・グリーンセンター・奥田・えびせんべいの里・大地の丘・美浜図書館・美浜郵便局・タケショウ・自衛隊・知多南消防組合・広野モータース・日本福祉大図書館・半田信用金庫・ゆたか寿司・食と健康の館・ヤナギ・コメリ・シップドラック・しまむら・紅葉屋等たくさんの事業所にお世話になりました。学校では体験できない学習をすることができました。ご協力ありがとうございました。



## 野間中だより編集部より



「野間中だより」ご愛読いただきありがとうございます。夏休み中に編集部にご寄せられたお手紙を紹介します。



こんにちは。わたしは子どもの頃から野球が大好きで子どもも野球部でした。息子たちも学校を卒業した今、高校野球や学童野球を見学するのがわたしの今の楽しみです。先日、毎日の散歩コースである成岩中学校の運動場前を通りました。野球場に白線が描かれ、ユニフォームを着た中学生がたくさんいるのを見て野球観戦をしようと思成岩中学校の野球場に寄ってみました。前日の雨の影響もありグラウンドは余りよい状況ではありませんでした。試合前とあってこれから試合をする選手たちは大きな声でキャッチボールやトスバッティングをしていました。そんな何気ない試合前の風景の中で、わたしが気にしたのが赤い帽の選手たちの動きでした。試合前の練習は両チームのボールが交錯します。赤い帽の選手たちは相手チームのボールでも素早く取りに行き、グラウンド整備でも、自分たちが使った部分だけでなく、相手味方関係なくグラウンド全体を整備し始めました。野球ファンのわたしは赤い帽の選手の姿にとっても感動しました。確かに勝ち負けは大事ですが学童野球は赤い帽の選手たちのような心がけが一番大切だと思います。監督・コーチと思われる先生方は大きな声で選手をのりたり、罵倒することもなく、笑顔で温かく見守り、選手は自分たちから積極的に野球をしている姿がとても印象的でした。その光景を見て、うれしくなり、赤い帽のチームを応援していました。試合は惜しくも負けてしまいましたが、このチームはこのままでは終わらないぞ、きつと強くなるぞと思いました。ユニフォームの文字を見ると「NOMA」とあり、会社の同僚に野間の人がいたので早速この話をしました。野間地区では「野間中だより」が回覧されていて、連絡先も書いてあったので、早速投稿させていただきました。選手のみならず、これからも先生やコーチの指導のもと、一生懸命練習に励んで下さい。

「うまい選手になる前に、よき中学生であれ！」

野間中野球部のファンより

## 野球部2年生 中野 甚八

僕たち野球部は3年生の先輩が引退して、2年生17人、1年11人、合計28人で新チームをスタートさせました。3年生の先輩方は体も大きく、人数も多く、技術的にも非常に高く、僕たち新チームは先輩方に遠く及びません。しかし、「全員野球」をモットーにして、元気よく、礼儀正しいチームを目指して毎日練習しています。全員野球ですから、練習の準備、グラウンド整備なども全員で行うようにしています。僕はキャプテンとして、みんなのお手本になるよう心がけています。まだまだ弱小ですが、岡井先生、山本憲司先生、渡辺コーチ、坂本コーチの指導のもと、「全員野球」を目指して活動していきたいと思ひます。



編集部より「野間中だより」をご愛読ありがとうございます。「野間中だより」に関するご感想やご意見がございましたら、編集部までお寄せください。

野間中だより編集部 [nomajh\\_dayori@yahoo.co.jp](mailto:nomajh_dayori@yahoo.co.jp)